

令和4年度
9月補正予算





予算編成の基本方針

原油価格・物価高騰が続いている状況を踏まえ、府民生活や事業活動に対する緊急支援を行うとともに、引き続き新型コロナウイルスに対応するための医療提供体制等の確保を実施。

また、丹後郷土資料館のリニューアル整備など、未来の京都づくりに向けた整備の推進に必要な予算を計上する。

- I 原油価格・物価高騰等に対する緊急対策
- II 新型コロナウイルス感染症対策
- III 未来の京都づくりに向けた整備の推進



I 原油価格・物価高騰等に対する緊急対策

こどもの城等緊急支援事業費

10百万円

物価高騰により厳しい運営状況にある
子ども食堂やこどもの居場所、児童養護施設等を支援

ポイント

育ち盛りの子どもたちが適切な食事を取り、
健やかに成長できるよう食材費の高騰分を支援



社会福祉施設等緊急支援事業費

298百万円

原油価格高騰により厳しい運営状況にある
高齢者・障害者施設等を支援



ポイント

送迎や訪問等のサービス提供の維持に必要な
燃料費の高騰分を支援



I 原油価格・物価高騰等に対する緊急対策

原油価格・物価高騰対策緊急金融支援費

1,125百万円

厳しい経営環境にある中小企業者等の経営改善を支援

ポイント

「伴走支援型経営改善おうえん資金」の融資を受け、
経営改善に取り組む中小企業者等を支援

● 伴走支援型経営改善おうえん資金

経営改善に係る計画を作成し、金融機関の継続的な伴走支援を受けることなどが条件

融資期間	10年以内(必要に応じ5年以内の据置)
融資限度額	6,000万円
融資利率	年1.1%
保証料率	年0.2~1.15% → 信用保証料の範囲内で支援





I 原油価格・物価高騰等に対する緊急対策

肥料高騰緊急対策拡充支援事業費

30百万円

肥料価格の更なる高騰を受けて制度を拡充

ポイント

5月補正で創設した肥料高騰対策の要件緩和・対象の拡大

補助要件

化学肥料の対前年削減割合 30% → 20%

補助期間

令和4年11月まで → 令和5年3月まで

対象品目

野菜・花き・水稻・茶

春肥料中心の
品目を拡充



宇治茶生産省エネ推進緊急対策事業費

260百万円

燃油価格高騰の影響を受ける茶生産農家への緊急支援を拡充

輸入飼料価格高騰対策緊急支援事業費

200百万円

飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家への緊急支援を拡充



Ⅱ 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策

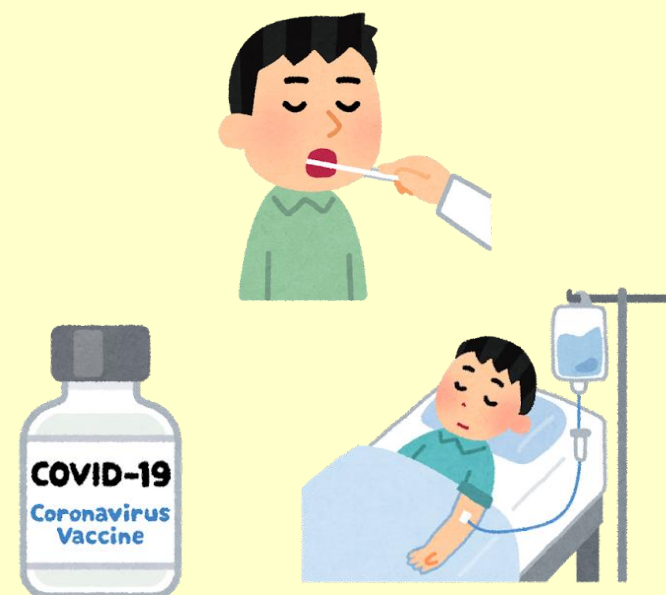
33,679百万円

医療提供体制の確保や感染防止対策等について、引き続き万全を期す

ポイント

現在の対策を当面継続するために必要な予算を計上

- 受入病床の確保
- 宿泊療養施設の運営
- 自宅療養者への生活支援
- PCR検査体制の確保
- ワクチン接種体制の確保
- 社会福祉施設の感染防止対策 等





Ⅲ 未来の京都づくりに向けた整備の推進

丹後郷土資料館整備推進費

45百万円

丹後地域の魅力を高め、地域づくりを牽引する博物館へのリニューアル

ポイント

- ・「丹後の歴史文化探訪・観光の拠点」をコンセプトに
機能性を兼ね備えた施設にリニューアル
- ・佐々木丞平氏(京都国立博物館名誉館長)を名誉館長に招聘し、
コンセプトの実現に向けた整備を推進
- ・多様な専門家や地元と連携しながら、
博物館の機能面や運営面を強化



文化庁移転準備費

5百万円



Ⅲ 未来の京都づくりに向けた整備の推進

けいはんなサステナブルスマートシティ推進事業費

174百万円

けいはんな学研都市において

デジタル技術を駆使したスマートサービスの実装等を支援

ポイント

6月補正

データ活用を促進するため、官民データの流通取引市場を構築



今回

デジタル技術を駆使したスマートライフサービスの実装

国庫採択に伴う
事業拡充

- ・スマートウォッチ等で収集する健康データを活用した
健康管理アプリを開発
⇒利用者の健康状況に応じた健康管理のアドバイス
- ・バス停等を総合的な情報発信プラットフォームとして活用
⇒地域の情報、災害情報をはじめ、
健康管理アプリと連携した利用者ニーズに応じた情報発信



予算の規模



予算の規模

令和4年度 現計予算

1,090,392百万円

令和4年度9月補正予算

36,477百万円

令和4年度
補正後予算額

1,126,869百万円